

産業廃棄物処分業実績報告書（令和2年度）

（特別管理産業廃棄物を除く）

令和3年6月30日

東京都知事 殿

【報告者】

住所 東京都足立区西伊興一丁目6番28番

氏名 東武清掃株式会社 印

代表取締役社長 津島 英世

（法人にあつては名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3899-2004

東京都内(八王子市除く)における処理実績	あり なし	許可番号	13-20-033340
担当者氏名	新井 裕幸	担当者電話番号	03-3899-2004

産業廃棄物の処分受託量

※自社処理(排出者と処分受託者が自社の場合)は、集計から除いてください。

コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】					コード	種類	数量 【単位：トン(t)/年】							
		百 万	十 万	千	百	十			小 数 点 以下6桁	百 万	十 万	千	百	十	小 数 点 以下6桁	
0100	燃え殻						●	1300	紙くず							●
0200	汚泥						●	1400	木くず					0		●
0300	廃油						●	1500	繊維くず							●
0400	廃酸						●	1600	動植物性残さ							●
0500	廃アルカリ						●	1700	動物系固形不要物							●
0600	廃プラスチック類			3	9	4	●	1800	動物のふん尿							●
0700	ゴムくず						●	1900	動物の死体							●
0800	金属くず			1	0	7	●	2000	産業廃棄物を処分するために処理したもの (例 焼却灰の熔融固化物等)							●
0900	ガラス・コンクリート・陶磁器くず			1	0		●	5000	石綿含有産業廃棄物							●
1000	鋳さい						●	6100	水銀含有ばいじん等							●
1100	がれき類 (建設廃材のコンクリートを含む)				5		●	6200	水銀使用製品産業廃棄物							●
1200	ばいじん						●		合 計			5	1	7	●	

注1: がれき類などに該当するものであつても、石綿を含有する場合は「5000 石綿含有産業廃棄物」に分類してください。(0100~2000のコードに計上しないでください。)

注2: 金属くず、廃プラスチック類、汚泥などに該当するものであつても、manifestoに「水銀含有ばいじん等」又は「水銀使用製品産業廃棄物」と記載されている場合は、「6100 水銀含有ばいじん等」、「6200 水銀使用製品産業廃棄物」に分類してください。(0100~2000のコードに計上しないでください。)

注3: 「m」「kg」は、「t」に換算し記入してください。

令和2年度 産業廃棄物処分業実績報告書 (特別管理産業廃棄物を除く)

事業者名	東武清掃株式会社	許可番号	13 - 20 - 033340
------	----------	------	------------------

第3号様式(第3条関係)その2

この様式(第3号様式 その2)は必要枚数をコピーし廃棄物の処分方法ごとに作成してください。

処分を自社で行わず、他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

処分方法	破 砕
令和2年度処分受託量	394.070000 t

⇒具体的な処分方法を記入してください。(例 脱水、焼却、破砕など)

(処分量の発生地別内訳)

(発生した残さ物の処分先について) ※処理後に再生される場合でも記入してください。

平成31年度末の保管量	13 080000
-------------	-----------

都道府県又は八王子市 ※注1	令和2年度に処分した産業廃棄物の種類 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分について)																						
	第3号様式(その1)の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( 廃プラスチック類 ) ( ) ( )																						
	第3号様式(その1)の0100から6200までの中から1つを「種類コード」欄に記入																						
種類コード	0600			種類コード				種類コード															
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算																	
百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十						
万	千	百	十	一	小	万	千	百	十	一	小	万	千	百	十	一	小						
少数点以下6桁						少数点以下6桁						少数点以下6桁											
東京都(八王子市を除く) ※注1						3	9	4										0	7	0	0	0	0
八王子市 ※注1																							
埼玉県																							
千葉県																							
神奈川県																							
茨城県																							
栃木県																							
群馬県																							
合計						3	9	4										0	7	0	0	0	0

都道府県又は八王子市 ※注1	令和2年度に発生した残さ物の種類と処分方法 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分が発生した残さ物について)																						
	産業廃棄物の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( 廃プラスチック類 ) ( 廃プラスチック類 ) ( )																						
	次の①から④までの中から1つを「処分方法コード」欄に記入 ①再生・売却・その他、②二次中間処理、③埋立て、④海洋投入																						
処分方法コード	②			処分方法コード	①			処分方法コード															
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算																	
百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十	百	十	万	千	百	十						
万	千	百	十	一	小	万	千	百	十	一	小	万	千	百	十	一	小						
少数点以下6桁						少数点以下6桁						少数点以下6桁											
東京都(八王子市を除く) ※注1						1	3	9				0	4	0	0	0	0	1	1				
八王子市 ※注1																							
埼玉県																							
千葉県																							
神奈川県						2	4	3				9	2	0	0	0	0						
茨城県																							
栃木県																							
群馬県																							
合計						1	3	8	2			9	6	0	0	0	0	1	1				

令和2年度末の保管量	15 110000
------------	-----------

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①平成31年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②平成31年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていなかった産業廃棄物

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①令和2年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②令和2年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていない産業廃棄物

※注1: 処分量の発生地別内訳及び発生した残さ物の処分先については、東京(八王子市を除く)分と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。



事業者名	東武清掃株式会社	許可番号	13 - 20 - 033340
------	----------	------	------------------

この様式(第3号様式 その2)は必要枚数をコピーし廃棄物の処分方法ごとに作成してください。  
処分を自社で行わず、他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

処分方法	破 砕	⇒具体的な処分方法を記入してください。(例 脱水、焼却、破砕など)
令和2年度処分受託量	10.590000 t	

(処分量の発生地別内訳)

(発生した残さ物の処分先について) ※処理後に再生される場合でも記入してください。

平成31年度末の保管量	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点 以 下 6 桁	1 340000

都道府県 又は 八王子市 ※注1	令和2年度に処分した産業廃棄物の種類 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分について)												
	第3号様式(その1)の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( ガラス・コンクリート・陶磁器くず ) ( ) ( )												
	第3号様式(その1)の0100から6200までの中から1つを「種類コード」欄に記入												
種類コード	0900	種類コード		種類コード		種類コード		種類コード		種類コード		種類コード	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算							
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点 以 下 6 桁	1 0	590000											
東京都 (八王子市を除く) ※注1													
八王子市 ※注1													
埼玉県													
千葉県													
神奈川県													
茨城県													
栃木県													
群馬県													
福島県													
合 計	1 0	590000											

都道府県 又は 八王子市 ※注1	令和2年度に発生した残さ物の種類と処分方法 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分が発生した残さ物について)												
	産業廃棄物の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( ガラス・コンクリート・陶磁器くず ) ( ) ( )												
	次の①から④までの中から1つを「処分方法コード」欄に記入 ①再生・売却・その他、②二次中間処理、③埋立て、④海洋投入												
処分方法 コード	①	処分方法 コード	②	処分方法 コード	③	処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算							
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点 以 下 6 桁	1 0	000000											
東京都 (八王子市を除く) ※注1													
八王子市 ※注1													
埼玉県													
千葉県													
神奈川県								300000					
茨城県													
栃木県													
群馬県													
福島県												290000	
合 計	1 0	000000						300000				290000	

令和2年度末の保管量	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点 以 下 6 桁	1 680000

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①平成31年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②平成31年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていなかった産業廃棄物

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①令和2年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②令和2年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていない産業廃棄物

※注1: 処分量の発生地別内訳及び発生した残さ物の処分先については、東京(八王子市を除く)分と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。

令和2年度 産業廃棄物処分業実績報告書 (特別管理産業廃棄物を除く)

事業者名	東武清掃株式会社	許可番号	13 - 20 - 033340
------	----------	------	------------------

第3号様式(第3条関係)その2

この様式(第3号様式 その2)は必要枚数をコピーし廃棄物の処分方法ごとに作成してください。  
処分を自社で行わず、他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

処分方法	破 碎	⇒ 具体的な処分方法を記入してください。(例 脱水、焼却、破碎など)
令和2年度処分受託量	5.450000	t

(処分量の発生地別内訳)

(発生した残さ物の処分先について) ※処理後に再生される場合でも記入してください。

平成31年度末の保管量

【単位：トン(t)/年】  
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	千	百	十	一	小	少数点
●								以下6桁

都道府県 又は 八王子市 ※注1	令和2年度に処分した産業廃棄物の種類 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分について)																												
	第3号様式(その1)の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( がれき類 ) ( ) ( )																												
	第3号様式(その1)の0100から6200までの中から1つを「種類コード」欄に記入																												
	種類コード	1100	種類コード		種類コード		種類コード		種類コード		種類コード																		
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算																													
	百	十	万	千	百	十	一	小	少数点		百	十	万	千	百	十	一	小	少数点		百	十	万	千	百	十	一	小	少数点
									5	450000																			
東京都 (八王子市を除く) ※注1									●									●									●		
八王子市 ※注1									●									●									●		
埼玉県									●									●									●		
千葉県									●									●									●		
神奈川県									●									●									●		
茨城県									●									●									●		
栃木県									●									●									●		
群馬県									●									●									●		
福島県									●									●									●		
合計									5	450000								●									●		

都道府県 又は 八王子市 ※注1	令和2年度に発生した残さ物の種類と処分方法 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分が発生した残さ物について)																												
	産業廃棄物の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( がれき類 ) ( ) ( )																												
	次の①から④までの中から1つを「処分方法コード」欄に記入 ①再生・売却・その他、②二次中間処理、③埋立て、④海洋投入																												
	処分方法 コード	③	処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード																		
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算																													
	百	十	万	千	百	十	一	小	少数点		百	十	万	千	百	十	一	小	少数点		百	十	万	千	百	十	一	小	少数点
									5	450000																			
東京都 (八王子市を除く) ※注1									●									●									●		
八王子市 ※注1									●									●									●		
埼玉県									●									●									●		
千葉県									●									●									●		
神奈川県									●									●									●		
茨城県									●									●									●		
栃木県									●									●									●		
群馬県									●									●									●		
福島県									●									●									●		
合計									5	450000								●									●		

令和2年度末の保管量

【単位：トン(t)/年】  
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	千	百	十	一	小	少数点
●								以下6桁

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①平成31年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②平成31年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていなかった産業廃棄物

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①令和2年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②令和2年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていない産業廃棄物

※注1: 処分量の発生地別内訳及び発生した残さ物の処分先については、東京(八王子市を除く)分と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。

令和2年度 産業廃棄物処分業実績報告書 (特別管理産業廃棄物を除く)

事業者名	東武清掃株式会社	許可番号	13 - 20 - 033340
------	----------	------	------------------

第3号様式(第3条関係)その2

この様式(第3号様式 その2)は必要枚数をコピーし廃棄物の処分方法ごとに作成してください。  
処分を自社で行わず、他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

処分方法	破 碎	⇒ 具体的な処分方法を記入してください。(例 脱水、焼却、破碎など)
令和2年度処分受託量	0.070000 t	

(処分量の発生地別内訳)

(発生した残さ物の処分先について) ※処理後に再生される場合でも記入してください。

平成31年度末の保管量
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点 万 万 万 千 百 十 一 下 6 桁

都道府県 又は 八王子市 ※注1	令和2年度に処分した産業廃棄物の種類 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分について)											
	第3号様式(その1)の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( 木くず ) ( ) ( )											
	第3号様式(その1)の0100から6200までの中から1つを「種類コード」欄に記入											
	種類コード	1400	種類コード		種類コード		種類コード		種類コード		種類コード	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	
東京都 (八王子市を除く) ※注1	0	070000										
八王子市 ※注1												
埼玉県												
千葉県												
神奈川県												
茨城県												
栃木県												
群馬県												
合計	0	070000										

都道府県 又は 八王子市 ※注1	令和2年度に発生した残さ物の種類と処分方法 (令和2年度に受託した産業廃棄物の処分が発生した残さ物について)											
	産業廃棄物の種類のうちから1つを下の( )に記入 ( 木くず ) ( ) ( )											
	次の①から④までの中から1つを「処分方法コード」欄に記入 ①再生・売却・その他、②二次中間処理、③埋立て、④海洋投入											
	処分方法 コード	②	処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード		処分方法 コード	
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点	
東京都 (八王子市を除く) ※注1												
八王子市 ※注1												
埼玉県												
千葉県												
神奈川県	0	070000										
茨城県												
栃木県												
群馬県												
合計	0	070000										

令和2年度末の保管量
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 千 百 十 一 小 数 点 少 数 点 万 万 万 千 百 十 一 下 6 桁

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①令和2年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②令和2年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていない産業廃棄物

【注意】  
「搬出前の保管量」には、次の①、②が該当します。  
①平成31年度に処分が終了しなかった産業廃棄物  
②平成31年度に処分は終了したが、同年度中に搬出をしていなかった産業廃棄物

※注1: 処分量の発生地別内訳及び発生した残さ物の処分先については、東京(八王子市を除く)分と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。